

# 令和5年度総合型選抜 環境・社会理工学院B 出題の意図

## 問題1

土木・環境工学では様々な学問を基礎として、社会的・経済的条件を踏まえて国土空間をつくる技術や方法論を扱う。よって、本分野では地域を多面的に捉えた上で、インフラストラクチャーという1つの形に落とし込むための論理的な思考が必要となる。

本問題では、1) 地図から様々な情報を読み取ることができ、2) それを平面図として理解するだけでなく、生活空間として把握できること、3) 様々な制約条件や配慮事項について思い至ることが必要となる。その上で、4) それらの情報をもとに自動車専用道路という1つの具体的な構造に落とし込む能力、また、5) その結果を論理的でわかりやすく説明できる表現力と文章力が必要となる。本問題ではこれらの能力を問うことを意図している。

## 問題2

本問題では持続可能な開発目標（SDGs）の中で、土木・環境工学と密接に関係する話題について、世界規模と国・地域規模の視点での関心、英文の読解力、想像力、論理的説明能力を評価する。

- (1) エネルギー効率の改善に関して、比較的情報量の多い文章の要点をつかみ取る能力を問う。
- (2) 複合災害と地域の強靱化に関するやや難易度が高い英文を正確に和訳する能力を問う。また、自身の住む地域の特性を理解し、複合災害に関連する想像力を問う。
- (3) 脱炭素に向けた取り組みについて、多様な視点から自身の意見を論理的に説明する力を問う。